

## 地域で不足する外来医療機能について

### 1 概要

愛知県外来医療計画では、各構想区域の地域医療構想推進委員会において、各種外来医療機能（初期救急医療、在宅医療、産業医、学校医、予防接種等の公衆衛生に係る医療）について地域において不足しているか検討し、協議を行うこととしている。

### 2 経緯及び調査方法

令和6年9月5日に実施した令和6年度第1回東三河北部構想区域地域医療構想推進委員会においては、東三河北部医療圏の医療機関名簿を提示し、愛知県外来医療計画で検討することとしている項目に限定せず、日頃地域で不足していると感じる外来医療機能について意見交換を行った。

また、当医療圏は人口が少なく面積が広大であるため、単位人口当たりの診療所数等の定量的なデータ等を用いることでかえって実態にそぐわない結果が出てしまうため、新城市医師会、北設楽郡医師会へ地域で不足する外来医療機能に係るアンケートへの回答等を依頼し、各種医療機能提供体制の現状と課題について調査した。

### 3 各種医療機能提供体制の現状と課題について（回答結果等とりまとめ）

#### （1）初期救急医療について

##### 新城市

##### 現状

- ・新城休日診療所は日、祝、盆、GW、年末年始に新城市医師会会員の診療所が割り当てられ、新城市夜間診療所は火・水・木のみ新城市医師会所属医師が担当し、他の曜日は他市の医師に依頼している。
- ・医療法人星野病院、茶白山厚生病院、眼科診療所（2か所）及び皮膚科診療所（1か所）は在宅当番医として別サイクルで初期救急対応にあたっている（およそ月に1～2回）。

##### 課題

- ・夜間診療所では院内処方としているが、**薬剤不足（特に鎮咳薬）が顕著**であり、患者に対し十分な対応ができない。また、新城市医師会の会員が少ないため、**他市の医師にも診療を依頼せざるを得ない**。
- ・休日診療所では院外処方としているが、**夜間・休日の処方対応を行う薬局が少なくなっており**、現在は2店舗のみをお願いしている。

##### 北設楽郡

##### 現状

- ・医師会として初期救急医療に関する体制はとっていない。

## (2) 在宅医療について

### 新城市

#### 現状

往診実施医療機関数：6 機関

#### 課題

- ・在宅医療を希望される方が増加していくと思われるが、対応医療機関が少ない。特に点滴、酸素、吸痰などの処置を伴う方の対応や夜間対応ができる施設となるとさらに少ない。
- ・在宅医療を受けている方を一時的に入院させてもらえる病院（病床）が少ない。
- ・不測の事態が起きたときに大きな病院がバックアップする体制が必要である。

### 北設楽郡

#### 現状

往診実施医療機関数：5 機関（全部）

#### 課題

- ・地域が広大なため診療所と患者宅を往復するだけでも時間を要し、体力的に厳しい。

## (3) 産業医について

### 新城市

#### 現状

- ・事業所からの依頼をいったん医師会事務局で受け、その都度理事会ではかったり、産業医の資格を持つ医師に直接頼んだりしており、割当てについて統一的なルールは無い。

#### 課題

- ・新城市内の医師に引受けてもらえず、他市の医師会に依頼する場合も多い。
- ・すべての事業所からの依頼には応えられていない。

### 北設楽郡

#### 現状

- ・産業医資格を持つ医師が個別で事業所と契約を締結しており、郡医師会としては産業医の選定等に関与していない。

#### 課題

- ・産業医を必要とする事業所は少なく、協力機関が不足する状況ではないと考える。

#### (4) 学校医について

##### 新城市

###### 現状

- ・基本的には診療所がある地区の園・学校を担当するよう振り分けている。
- ・学校医の担い手自体は充足しており、割当てに支障は生じていない。

###### 課題

- ・自院の外来診療の合間に学校の健診業務等を実施するための時間を工面するのが難しい。
- ・異常発見後に精査を依頼できる小児科が新城市内に少なく、対応に苦慮することが多い。

##### 北設楽郡

###### 現状

- ・郡医師会は学校医の割当て等に関与しておらず、各学校が個別に委託契約を結んでいる。

###### 課題

- ・地域全体で児童数が減少状態であり、業務量等で問題になることは無いと考えられる。

#### (5) 予防接種について

##### 新城市

###### 現状

- ・定期予防接種は市からの委託を受けた医療機関が行っている。
- ・65歳以上のインフルエンザ、コロナ、帯状疱疹等のワクチンは市からの補助金額が決まっており、それぞれの診療所が購入し接種している。
- ・現在は新型コロナウイルス感染症への対応が落ち着いてきたこともあり、過年度と比較すると落ち着いている。

###### 課題

- ・ワクチンが不足し、当初のスケジュール通りにワクチンを接種ができない時期もあった。
- ・冬期のインフルエンザ及びコロナの流行期におけるワクチン接種は人員的にも時間的にも対応が困難なことがある。

##### 北設楽郡

###### 現状

- ・保健センターでスケジュールを立て、各医療機関へ割当てて予防接種を委託している。  
(保健センターで小児期及び65歳以上のコロナワクチン接種を実施)
- ・その他の住民を対象とするコロナワクチンは各医療機関で個別接種している。
- ・インフルエンザワクチンについては全面的に個別接種している。

###### 課題

- ・現状では特に問題は生じていない。

## (6) その他の意見

### ○医療提供体制全般について

- ・必要な医療機能を論じる以前にまず診療所が絶対的に少ない。巡回診療を実施することで無医地区への対応を試みているがその際には本院を休診とせざるを得ない。オンライン診療等も活用しながら地域の医療提供体制を確保するよう検討していく必要がある。
- ・地域全体で医師の高齢化と後継者不足の問題が深刻化しつつある。
- ・休日や夜間の勤務ができる看護師が少なくなっており、人員確保に苦慮している。対処できない重症患者は南部の医療機関へ案内している。
- ・薬剤の供給が慢性的に不足している。

### ○個別の診療科目について

- ・歯科医師の高齢化が進み閉院する歯科診療所がある一方、20年近くにわたって新規開設がない。このままでは歯科診療所が10年後に半減している可能性もある。
- ・小児科を標榜している診療所はあるものの、小児科を専門としている診療所がなく、乳幼児等への対応が難しい。
- ・産婦人科の対応が難しい。
- ・精神科疾患を抱える患者の入院受入れが困難である。
- ・診療時間終了直前に受診した、やや症状が重い外科系の患者の紹介先が少ない。

### ○その他

- ・東三河南部医療圏を含めた、具体的で危機感を持った話し合いが必要である。

## 4 地域で不足する外来医療機能（事務局案）

- ・初期救急医療について、他市の医師会等の協力が不可欠の状況と言えるため、不足する医療機能と位置付ける。
- ・在宅医療について、高齢者が多く需要が高い一方で医療従事者の不足や医療圏の広大さから提供に支障をきたしているため不足する医療機能と位置付ける。
- ・産業医について、北設楽郡においては需要が少ないため充足しているが、新城市では市医師会員だけでは対処しきれず、他市の医師会に依頼が必要な状況であるため、不足する医療機能と位置付ける。